

# 木曽岬町未来づくりかわら版

発行：木曽岬町総務企画課  
連絡先：0567-68-6101

発行日：平成25年8月9日

## 第5次総合計画策定のための「まちづくりサロン」を開催しました！

### 【第1回 開催概要】

日時：平成25年5月11日（土曜日）  
午後1時30分～午後4時30分  
会場：木曽岬町役場 2階会議室  
参加者：33名  
プログラム：

総合計画とまちづくりサロンについて  
基調講演『地域の宝を磨き 人が輝くと地域が元気になる』  
多気町まちの宝創造特命監 岸川 政之 さん  
座談会『木曽岬町の“魅力”や“困りごと”を出し合おう』



### 【結果概要】

#### 総合計画とは？まちづくりサロンとは？

事務局から、「総合計画とは何か」「まちづくりサロンは何のためにするのか」について説明しました。

総合計画は、行政（木曽岬町）を運営していくための基本的な方針となるもので、本町のまちづくりの長期的な展望を示し、魅力あるまちの将来像を描くもの。

まちづくりサロンは、町民の視点から見た地域の“伸ばすべき魅力”や“解決すべき課題”について生の意見を聞かせてもらう。  
○魅力を伸ばしたり、課題を解決するために、町民と行政と一緒に取り組んでいく“仕掛け”や“町民と行政との役割分担”、“必要な支援策”を考える。  
ために開催するもの。

#### 基調講演『地域の宝を磨き

#### 人が輝くと地域が元気になる』

#### 多気町まちの宝創造特命監 岸川政之さん

相可高校の高校生レストラン「まごの店」の仕掛け人として有名な、多気町まちの宝創造特命監の岸川政之さんにまちづくりの秘訣をお話していただきました。

- ・「成功事例とされている取組みは、みんな必死になって取り組んでいるから光っているように見える」
- ・「まずは一歩、小さなことでも良いから、実際にやってみることが大切」

など、実際の取り組みの様子や苦労話を交えながら、貴重な“秘訣”を教えてくださいました。

#### 座談会『木曽岬町の“魅力”や“困りごと”を出し合おう』

3つのグループに分かれて、木曽岬町の「魅力」や「困りごと」を出し合いました。主な意見は次の通りです。

魅力・良いところ	<ul style="list-style-type: none"><li>・住みやすい・自然が豊か。</li><li>・小さい町だけ楽しい。</li><li>・人が良く、人間性が豊か。助け合いの心が残っている。</li><li>・名古屋市に近い。</li><li>・安心して子育てができる。</li><li>・農産物が豊富。新鮮でおいしい。食が安心・安全。</li><li>・桜がきれい。</li></ul>
問題・困っているところ	<ul style="list-style-type: none"><li>・町内の買い物の場所が乏しく、車がないと生活しにくい。</li><li>・ゴミの投棄が多い。</li><li>・交通の便が悪い。</li><li>・交通事故や火災が増えている気がする。</li><li>・避難場所が整備不足。防災訓練参加者が少ない。</li><li>・若者同士や世代間で交流する組織や団体がない。</li><li>・子どもが減っている。クラブ数も減っている。</li><li>・若者が他市町に流出している。</li><li>・桜に毛虫が多い。休憩所がない。</li></ul>
解決アイデアなど	<ul style="list-style-type: none"><li>・まずは人口を増やす施策が必要だ。</li><li>・皆の防災意識を高める必要がある。</li><li>・子どもは「地域の宝」。地域が教育に関わるべき。</li><li>・「農」を活用した取り組みを活発にする。</li><li>・活動の担い手・リーダーを育成する。</li></ul>

#### その他

座談会の発表後、町長と岸川さんより、サロンでの活発な意見交換に対する期待のお言葉をいただきました。その後、事務局より次回の説明を行い、終了しました。

## 【第2回 開催概要】

日 時：平成 25 年 6 月 1 日（土曜日）  
午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分  
会 場：木曾岬町役場 2 階会議室  
参加者：24 名  
プログラム：

- 前回の振り返り
- 座談会
- 『木曾岬町でこれから進めるべき取組を考えよう』
- 発表・全体討議

## 【結果概要】

### 座談会 『木曾岬町でこれから進めるべき取組を考えよう！』

第 1 回まちづくりサロンで出された意見を踏まえて、4 つにテーマを絞り、テーマごとに、

これから木曾岬町の“魅力を磨き上げ”たり、“困っていることを解決する”ために「取り組んでいくべきこと」について意見交換  
そのうえで、取り組んでいくべきことを「行政がすべきこと（行政が主体となる取組み・住民を支援する取組み）」、「住民がすべきこと」に整理をしました。

4 つのテーマは以下の通りです。

- |                        |
|------------------------|
| テーマ 1 . 子ども達の地域への愛着づくり |
| テーマ 2 . 防災             |
| テーマ 3 . 食（農産物・伝統料理）    |
| テーマ 4 . 観光・交流          |

主な意見は次の通りです。

#### テーマ 1 . 子ども達の地域への愛着づくり

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が行事を企画したり、まちづくりに参加できる機会をつくる</li> <li>・高校に進学した時、他市町の子ともと馴染めるように、子どもの頃から交流できる機会をつくる など</li> </ul>
住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在老人会が企画しているような、農業体験、昔の遊び体験など、様々な地域の交流イベントを、他の団体でも企画する</li> <li>・子ども会を復活させ、地域で子どもを育てる</li> <li>・子ども達の教育をサポートするため、学習ボランティアをする</li> <li>・登下校の見守りをする など</li> </ul>
資源・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休地の貸し出し / ・高齢者の技術提供</li> <li>・保護者の意識が低い など</li> </ul>

#### テーマ 2 . 防災

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブの集まりなど、人が集まっている機会を活用して、犯罪情報を伝える</li> <li>・今、浸水地区にある防災資材倉庫を、できるだけ高い場所に移動する</li> <li>・防災について学べる機会をつくる</li> <li>・要支援者を把握し、助ける方策を教える</li> <li>・町民が取り組める対策を伝える など</li> </ul>
-------	--



住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の避難を支援する仕組みをつくる</li> <li>・地域で要支援者を把握する</li> <li>・家庭で 1 週間分の備蓄をする運動をする</li> <li>・住民が主体となって防災訓練をする など</li> </ul>
資源・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の意識がない</li> <li>・消防団加入者が減っている など</li> </ul>

#### テーマ 3 . 食（農産物・伝統料理）

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地を活用した貸農園等を企画する</li> <li>・道の駅を整備したり、名古屋や大山田にアンテナショップを出す</li> <li>・給食で使う材料の地産地消を進める など</li> </ul>
住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾岬町の農産物のおいしさを町民が PR する</li> <li>・町民が木曾岬町の農産物や特産品を土産にする</li> <li>・農産物を使ったレシピをつくる</li> <li>・ブランドづくりに取り組む など</li> </ul>
資源・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾岬町の農産物を買える場所が農協しかない</li> <li>・種類が少ない など</li> </ul>

#### テーマ 4 . 観光・交流

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが木曾岬町の名刺を持つ</li> <li>・次の代の桜並木づくりをする</li> <li>・町民が町の資源を知る機会をつくる</li> <li>・木曾岬町ガイドボランティアを育成する</li> <li>・町として、温泉と連携し、温泉を活用してまちづくりをする など</li> </ul>
住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが木曾岬町の名刺を持つ</li> <li>・町内で行われるイベント等に、たくさんの町民が参加するように声かけをする</li> <li>・ホテルの育成をする など</li> </ul>
資源・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松尾芭蕉の歌碑 など</li> </ul>

#### その他

行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のみ世帯の生活実態と課題を把握する</li> <li>・企業を積極的に誘致し、若者が働ける場所を確保する</li> <li>・ボランティア活動ができる人に、きっかけをつくる講座などを開催する</li> <li>・ボランティアを組織化する など</li> </ul>
住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯の人に対してサポートできることを考えて実行する</li> <li>・木曾岬音頭や小唄保存会の活動を子どもや親に伝える など</li> </ul>
資源・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が町外に働きに出るとそのまま流出してしまう など</li> </ul>

まちづくりサロンで皆さんにいただいた貴重な意見は、総合計画の基本計画に反映していきます。